

保護者様

東郷町立音貝小学校長 柳川 聖子

よりよい音貝小学校めざして（アンケート結果について）

早春の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は本校の教育活動に格別のご理解をいただき、感謝申し上げます。

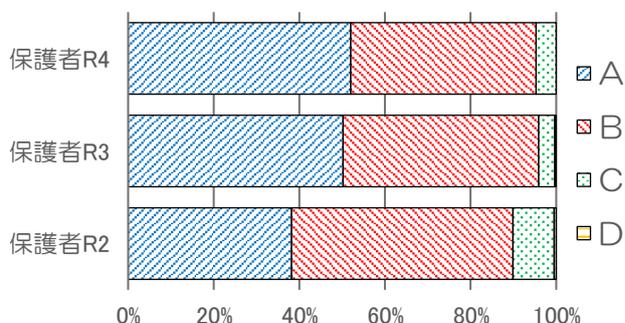
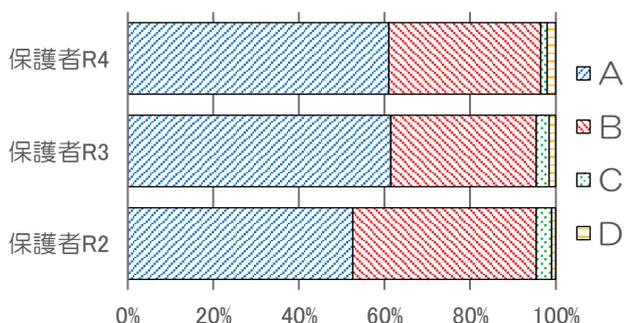
さて、2月にお願いいたしましたアンケートについて、結果をまとめましたのでお知らせいたします。結果を踏まえ、今後の教育活動に生かしていきます。

【グラフの見方】

A:よくあてはまる B:だいたいあてはまる C:あまりあてはまらない D:ぜんぜんあてはまらない

旗当番などPTAの活動に協力している。

学校はいろいろなたよりHPなどを通して情報を発信していると感じられる。

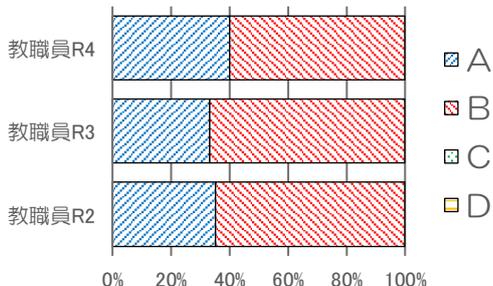
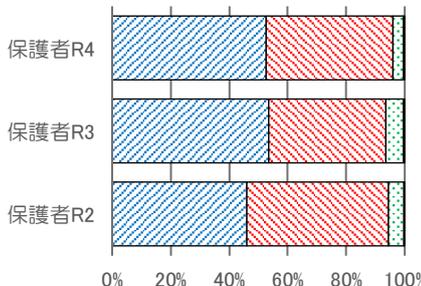
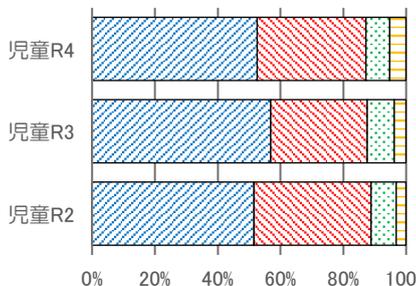


音貝小学校周辺は交通量も多く、事故の危険性が高い場所が数多くあります。PTAの皆さんの見守りにより、児童が安全に登校できることに感謝いたします。



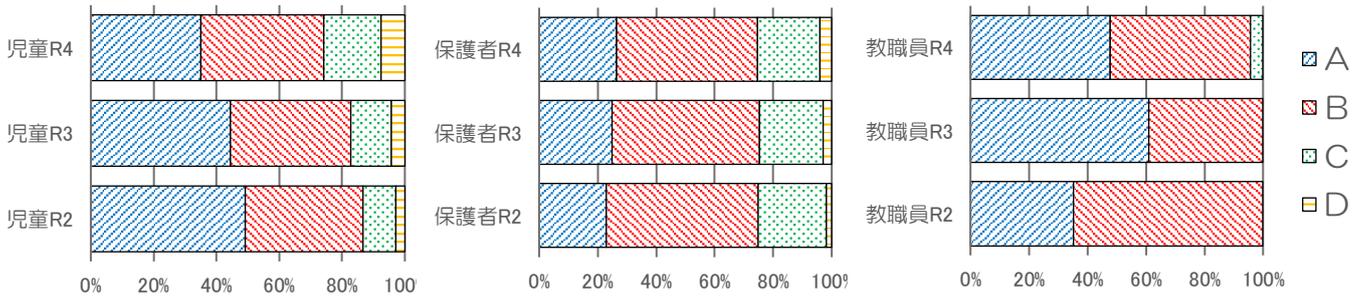
学年通信、ホームページ、メール配信などで音貝小学校の情報を発信しています。今後もプライバシーの保護に十分配慮しながらお伝えしていきます。

【児童】学校で生活することは楽しい。
【保護者】お子さんは、学校生活を毎日楽しんでいる。
【教職員】児童は、学校での生活を楽しく送っている。



児童、保護者ともに「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」を合わせた回答が大半をしめます。学校生活が楽しい、楽しんでいると感じているという結果が出ています。その反面、楽しいと感じていない児童、保護者がいることも事実です。この結果をしっかりと受け止め、児童理解に努め、全員が楽しいと思えるように教育活動の充実を図っていきます。

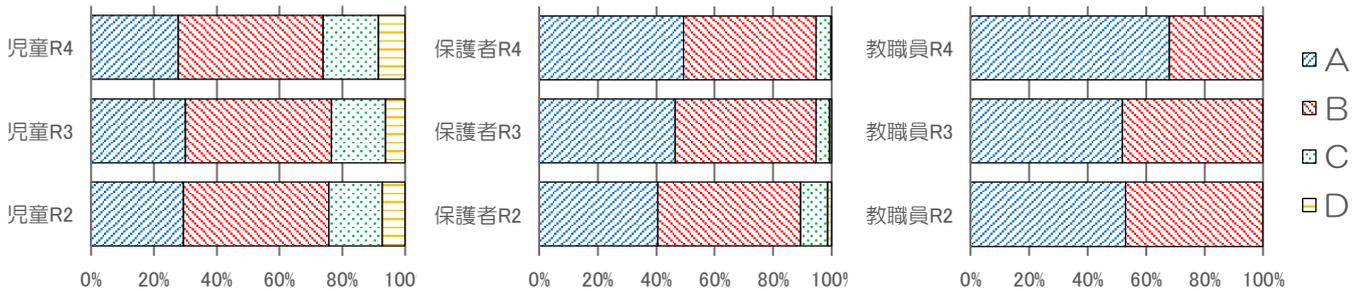
【児童】朝や帰りのあいさつをすすんでしている。
 【保護者】お子さんは、元気よく挨拶をしている。
 【教職員】児童が朝や帰りの挨拶を元気よくできるように心がけている。



校内の友達や先生だけでなく、登下校中の地域の皆様や保護者の皆様にもしっかりと挨拶ができる児童であってほしいと願います。職員自ら率先してあいさつをしていくことを心掛け、児童に元気よく挨拶をする習慣を定着させていきます。

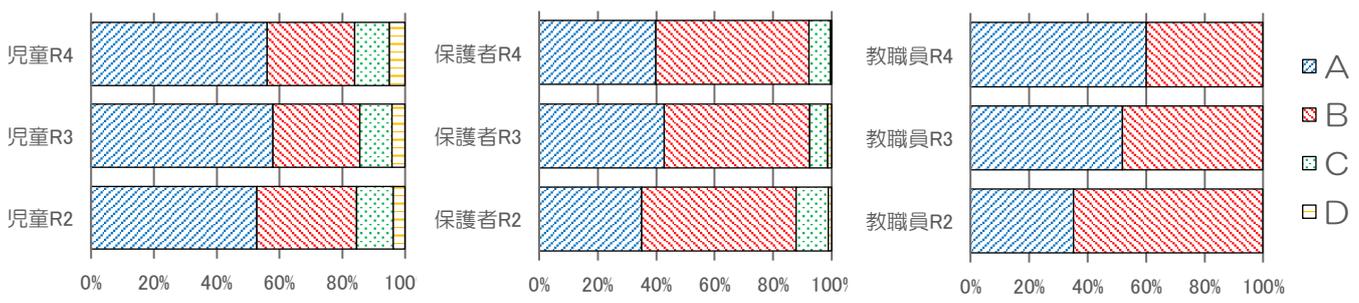


【児童】学校では、がんばったことやよいところをほめてもらえる。
 【保護者】学校では、お子さんが努力したことや良かったことをほめてもらえると感じられる。
 【教職員】児童の努力や良い点を認めるようにしている。



教職員の思いが、児童や保護者に伝わるように工夫をしていきます。また、児童の様子をしっかりと見て、学校生活のいろいろな場面で児童をほめたり励ましたりするように心掛けます。

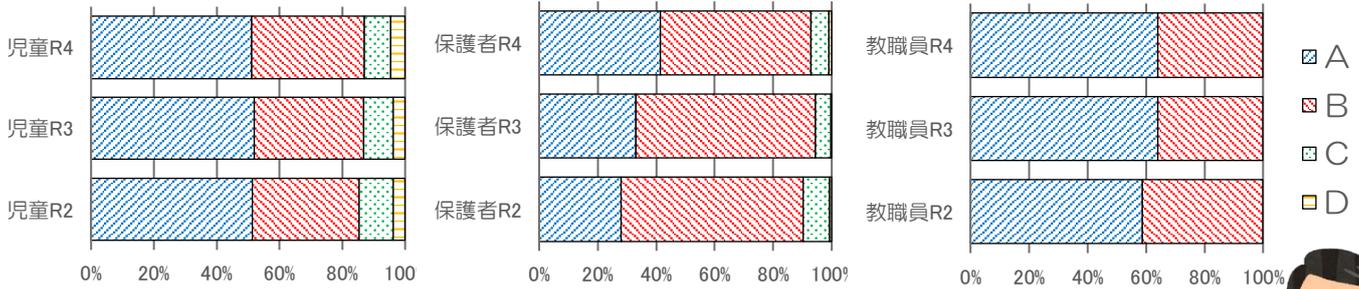
【児童】学校には、こまったときに相談できる人(先生やともだち)がいる。
 【保護者】学校にはときに相談できる人(先生や友達)がいると感じられる。
 【教職員】児童の声をよく聞き、何でも相談してくるよう心がけている。



様々な問題に対して、早期に発見し解決するためにも児童、保護者との連携を深め、コミュニケーションを大切にしていきます。

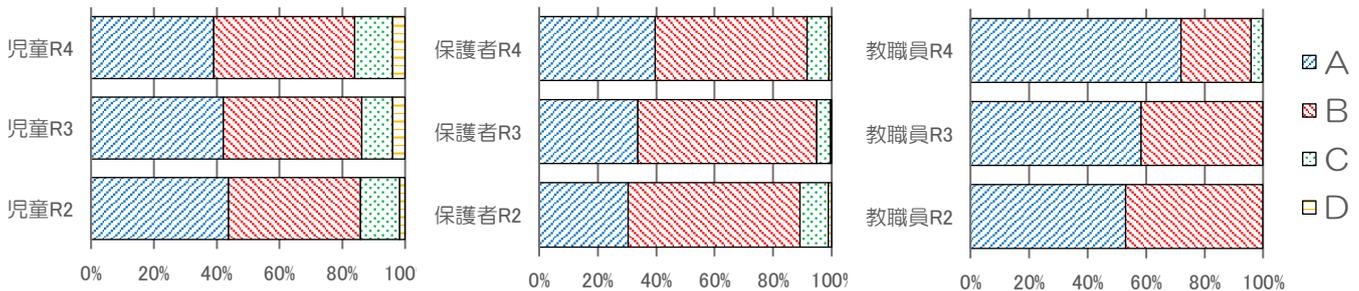


【児童】学校では、人を思いやる心が大切だと教えてくれる。
 【保護者】学校では、お子さんに人を思いやることの大切さを教えていると感じられる。
 【教職員】人を思いやることの大切さを教えている。



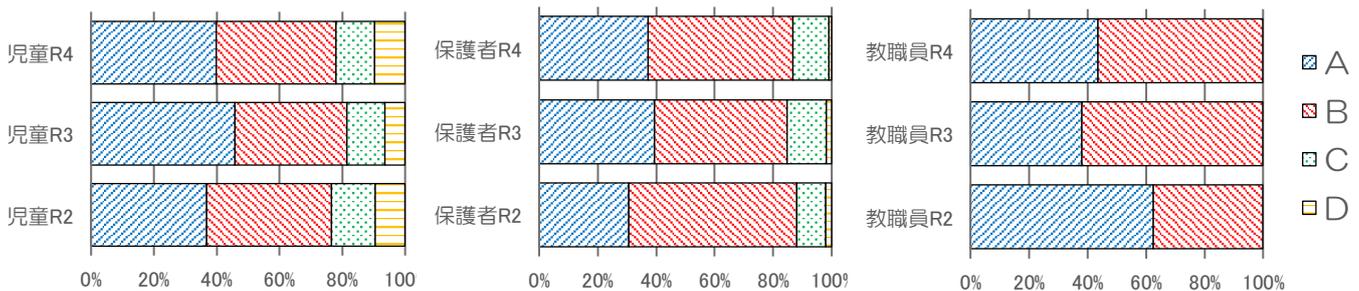
人を思いやる気持ちを育てることは、学校教育の中でも大切なことの一つです。今後も道徳の授業をはじめ、いろいろな場面で、ご家庭・地域と協力して指導していきます。

【児童】人に迷惑をかけないこと、元気にあいさつをすること、正しいことばづかいをすることなどのルールを守って生活している。
 【保護者】学校では、人に迷惑をかけないこと、元気に挨拶をすること、正しい言葉遣いをするなど社会のルールを守って生きることが大切であることを教えていると感じられる。
 【教職員】人に迷惑をかけないこと、挨拶をすること、正しい言葉遣いをするなど社会のルールを守って生きることが大切であることを教えている。



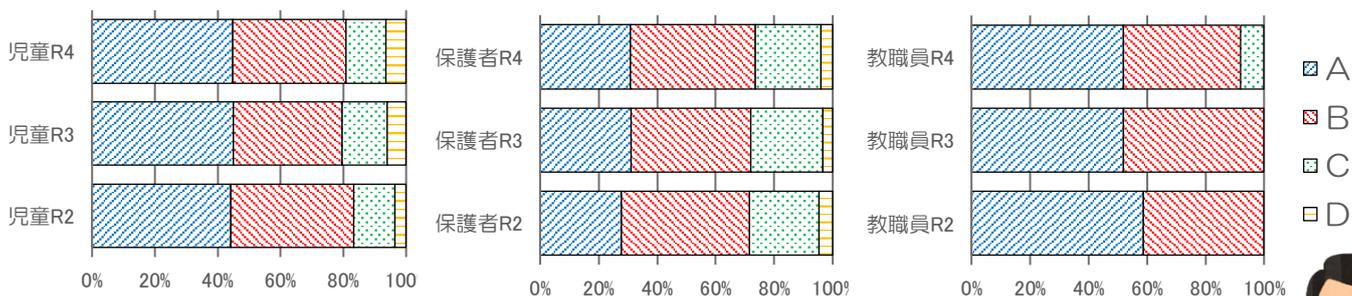
自分のことだけでなく、他人とともにお互いが気持ちよく生活するためにルールが必要であることを教えていきます。また、ルールを守ることの大切さをいろいろな場面を通して指導していきます。

【児童】授業が楽しい。
 【保護者】お子さんは、授業を楽しく受けているように感じられる。
 【教職員】分かりやすく楽しい授業を心がけている。



感染症予防を講じての授業で活動内容が制限されることありましたが、タブレットなどを活用して「分かる」授業を教職員一同、目標としています。一人でも多く、「分かる」「できる」児童を増やすためにも、学校全体で研修を積み重ねていきます。

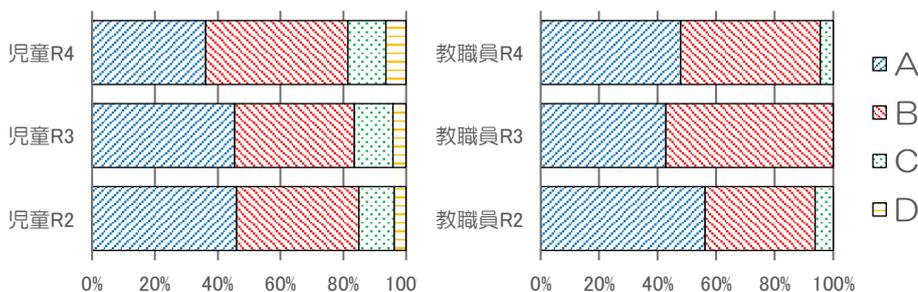
【児童】身の回りを整頓することなど自分のことは自分でできちんとすることができる。
 【保護者】お子さんは、身の回りの整頓など自分のことは自らするようになったと感じられる。
 【教職員】自分のことは自分でできちんとできるように取り組ませている。



自分のことを自分ですることが自立への第一歩です。学校と家庭が連携して、継続的に指導を行い、自分のことを自分でしようとする態度を身に付けさせていきます。



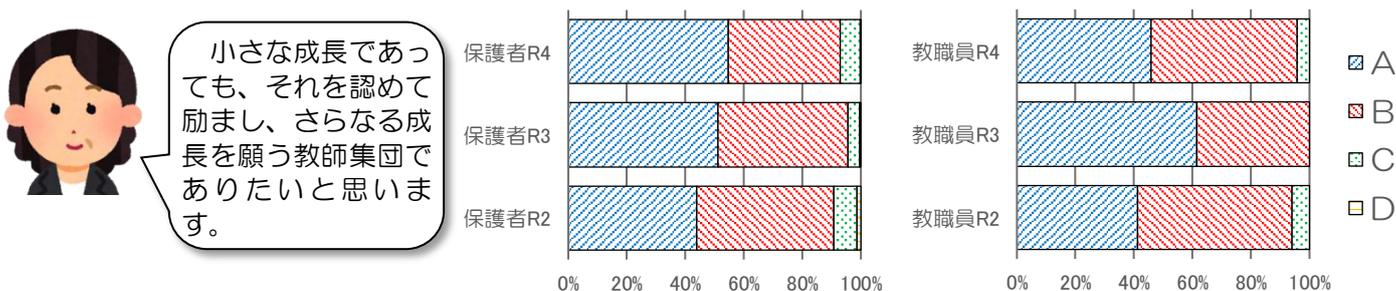
【児童】授業では、学習のめあてがわかって学習している。
 【教職員】授業では、児童に学習のめあてを明確にして学習を行っている。



授業が分かる、そして楽しいと思えるために、児童がめあてをしっかりと分かって授業に取り組めるようにしていきます。



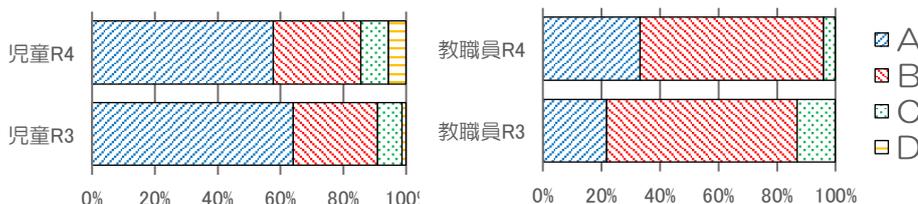
【保護者】お子さんは、今年度（4月～を振り返って）、よく成長したと感じられる。
 【教職員】児童は今年度（4月～を振り返って）、よく成長したと思われる。



小さな成長であっても、それを認めて励まし、さらなる成長を願う教師集団でありたいと思います。



【児童】授業の中で、上手にタブレットを使うことができる。
 【教職員】タブレットの情報機器などが授業で活用されている。



タブレットを効果的に活用できるようにしてきました。児童も上手に活用できているようです。



来年度も保護者の皆様、地域の皆様に、子どもたちの成長を感じていただけるように、教職員一同力を合わせて指導をしていきます。来年度もよろしくお願いいたします。アンケートへのご協力ありがとうございました。

